



平成26年4月14日

各 位

上場会社名 三谷産業株式会社
 代表者 代表取締役社長 饗庭 達也
 (コード番号 8285)
 問合せ先責任者 取締役 財務担当 梶谷 忠博
 (TEL 076-233-2151)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	66,500	1,490	1,680	750	13.64
今回修正予想(B)	68,029	1,477	1,763	1,066	19.39
増減額(B-A)	1,529	△13	83	316	
増減率(%)	2.3	△0.9	4.9	42.1	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	63,494	1,138	1,103	123	2.24

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,800	700	340	6.18
今回修正予想(B)	29,617	867	892	16.23
増減額(B-A)	817	167	552	
増減率(%)	2.8	23.9	162.4	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	28,167	673	391	7.11

修正の理由

1. 連結

売上高は前回発表予想を上回る見通しです。この主な要因は、
 (1)情報システム関連事業におけるWindows XPのサポート終了に伴うパソコン入れ替え需要、消費税増税に伴うシステム変更需要ならびに電子デバイス部品の販売増加
 (2)エネルギー関連事業における産業用燃料の販売数量の増加および販売単価の上昇
 (3)樹脂・エレクトロニクス関連事業における自動車部品分野での新型車種向け樹脂成形品の増加および既存樹脂成形品の需要増
 による売上増で

(1)化学品関連事業のジェネリック医薬品向け原体製造における需要家の在庫調整に伴う一部の製造品目での減産
 (2)化学品関連事業の機能性素材製造販売における当期の売上計上に寄与する案件の受注遅れ
 (3)空調設備工事関連事業における当期の売上計上に寄与する案件の受注遅れ
 による減少をカバーしたためです。

営業利益は、売上増に加え原価圧縮・経費削減により、医薬品向け原体製造での円安に伴う原材料費の増加による落ち込みをカバーし、ほぼ前回発表予想どおりとなる見通しです。

経常利益は、受取配当金や為替差益の増加等による営業外損益の改善により前回発表予想を上回る見通しであり、当期純利益は、経常利益増および当社における繰延税金資産の計上に伴う法人税等の減少により前回発表予想を上回る見通しです。

2. 個別

売上高は、上記の通り、情報システム関連事業および樹脂・エレクトロニクス関連事業での増加が化学品関連事業および空調設備工事関連事業での減少をカバーし前回発表予想を上回る見通しであり、経常利益も前回予想を上回る見通しです。当期純利益は上記の通り繰延税金資産の計上に伴う法人税等の減少により前回発表予想を上回る見通しです。

以 上